

---

# 交通局事業概要

---

令和6年4月19日

川崎市交通局

# 目 次

1	交通局理事者一覧	3
2	組織及び職員数	4
3	交通事業のあらまし	5
4	営業所の概要	6
5	市内の路線バスの状況	7
6	運輸実績	8
7	路線別の収支状況	9
8	川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）	11
9	令和6年度予算の概要	12
10	主な事業	13

# 1 交通局理事者一覧

(令和6年4月1日現在)

役 職 名	職 名	氏 名	内線電話等
川崎市交通事業管理者・交通局長	事務職員	水 澤 邦 紀 (みずさわ くにのり)	47000
企画管理部長	事務職員	柳 澤 和 也 (やなぎさわ かずや)	47100
企画管理部庶務課長	事務職員	永 松 祐 一 (ながまつ ゆういち)	47101
企画管理部庶務課担当課長(労務担当)	事務職員	平 勇 治 (たいら ゆうじ)	47102
企画管理部経営企画課長	事務職員	植 村 宏 明 (うえむら ひろあき)	47201
企画管理部経営企画課担当課長[事業改革推進] 企画管理部庶務課担当課長兼務	事務職員	張ヶ谷 務 (はりがや つとむ)	47202
企画管理部経理課長	事務職員	本 山 実 (もとやま みのる)	47301
自動車部長	事務職員	澁 谷 淳 一 (しぶや じゅんいち)	47400
自動車部管理課長	事務職員	牛 島 祐 一 (うしじま ゆういち)	47401
自動車部運輸課長	事務職員	徳 原 英 幹 (とくはら ひでき)	47501
自動車部安全・サービス課長	事務職員	榎 田 久 男 (えのきだ ひさお)	47801
自動車部担当課長[GX調整] 企画管理部経営企画課担当課長兼務	技術職員	立 石 英 誉 (たていし ひでたか)	47402
自動車部塩浜営業所長	事務職員	山 田 誠 (やまだ まこと)	(288)0972
自動車部担当部長・鷺ヶ峰営業所長事務取扱	事務職員	小 沢 正 勝 (おざわ まさかつ)	(977)5222



## 2 組織及び職員数

(令和6年4月1日現在)

### 川崎市交通事業管理者 (交通局長)

職員数 436人

- 内 訳：特別職1人  
：事務職員88人 (一般事務職66人、運輸事務職22人)  
：技術職員35人 (車両技術職32人、建築職1人、電気職2人)  
：技能職員310人 (自動車運転手)  
：業務職員2人

1人

### 企画管理部

1人

#### 庶務課

12人

#### 経営企画課

7人

#### 経理課

11人

### 自動車部

2人

#### 管理課

8人

#### 運輸課

14人

#### 安全・サービス課

11人

#### 塩浜営業所

166人

#### 鷺ヶ峰営業所

203人

#### 上平間営業所

#### 井田営業所

※上平間・井田営業所は民間事業者に委託

### 乗車券発売所

#### 川崎乗車券発売所

※「かわさき きたテラス」(JR川崎駅北口)に設置

#### 溝口乗車券発売所

※「ノクティプラザ1」(JR武蔵溝ノ口駅北口)に設置

### 3 交通事業のあらまし

(令和6年4月1日現在)

市バス運行開始日	昭和25年12月15日（交通事業の営業開始日 昭和19年10月14日）
運行区域	川崎市全域（一部横浜市乗入）
普通乗車料金 【市内均一】	現金：大人220円 小児110円 I C：大人220円 小児110円 ※川崎病院線は大人・小児とも100円
車両数	308両（乗合303両 貸切5両）
営業路線数	28路線
運行系統数	169系統
停留所数	491箇所
認可キロ数	197.693km（市内195.003km、横浜市内2.69km）

# 4 営業所の概要



	塩浜営業所	鷺ヶ峰営業所	上平間営業所	井田営業所	計
<b>所在地</b>	川崎区塩浜2-2-1	宮前区菅生ヶ丘41-1	中原区上平間1140	高津区明津98	
<b>営業開始</b>	昭和37.8.7	昭和47.4.24	昭和28.7.22	昭和41.8.1	
<b>車両数 (両)</b>	91	102	59	56	308

※車両数は令和6年4月1日時点

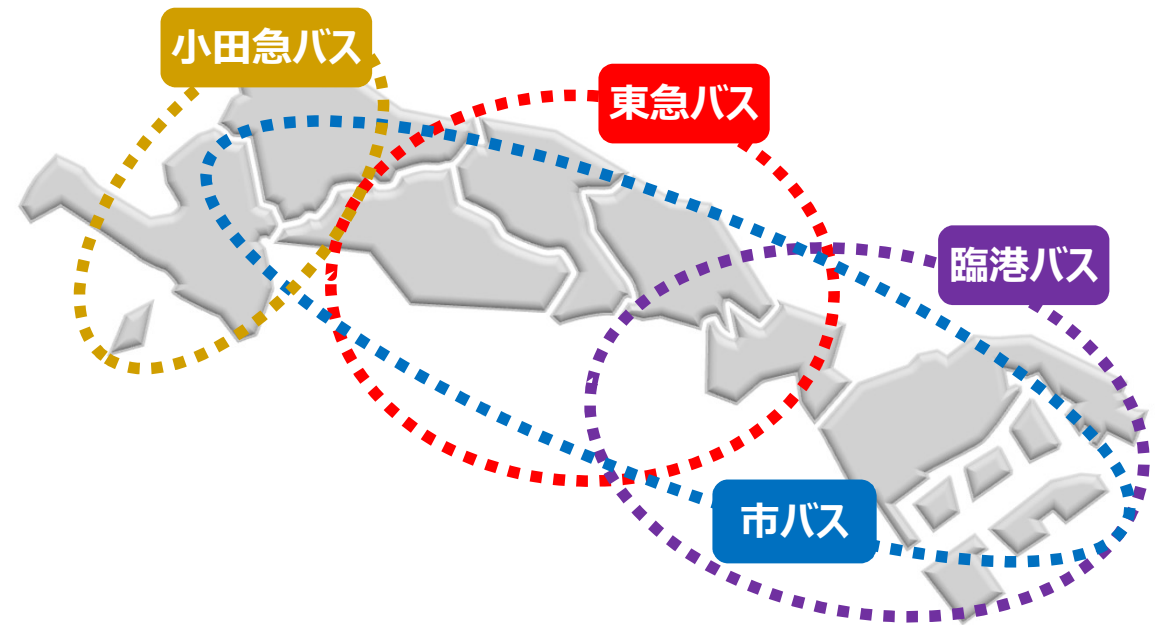
## 5 市内の路線バスの状況

- 市内の路線バスは、市バスのほか、主に民間バス事業者3社が運行しており、川崎鶴見臨港バスが臨海部地域を、東急バスが東急東横線・田園都市線沿線を、小田急バスが小田急線沿線を主な営業エリアとしている。
- 市バスは、市域全体を営業エリアとして、市内バス事業者における乗車人員の約4割のシェアを有している。

<市内バス事業者の乗車人員（令和4年乗合バス）>

事業者	乗車人員（人）	シェア
市バス	42,232,117	<b>38.1%</b>
臨港バス	31,864,733	28.8%
東急バス	23,772,976	21.5%
小田急バス	12,830,998	11.6%
合計	110,700,824	100.0%

<市内路線バスの営業エリアイメージ>



（資料）『川崎市統計書』から作成

※市バスは年度（4月～3月）、民間バスは年間（1月～12月）

## 6 運輸実績（令和4年度）

### 乗合バス事業

区分	数量	1日当たり
期末営業キロ	197.69km	—
停留所数	491箇所	—
運行系統数	171系統	—
営業路線数	28路線	—
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	307両	—
延実働車両数	98,372両	270両
実車走行キロ	11,247,171km	30,814km
乗車人員	42,232,117人	115,704人
乗車料収入（税抜）	7,296,962,432円	19,991,678円

### 貸切バス事業

区分	数量	1日当たり
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	5両	—
延実働車両数	352両	1両
実車走行キロ	22,430km	61km
乗車人員	130,948人	359人
乗車料収入（税抜）	24,588,706円	67,366円

※運行系統数には臨時系統の13系統を含む



## 7 路線別の収支状況

- ・ 営業係数とは

100円の収入を得るのに必要な費用を示す指数で、

100未満であれば黒字、100を超えると赤字であることを示す。

〔令和4年度決算〕

営業係数	路線数	構成比
100 未満 (黒字)	1 路線	3.6%
100 超 (赤字)	27 路線	96.4%
100 ~ 150 未満	24 路線	85.7%
150 以上	3 路線	10.7%
計	28 路線	100.0%

- 営業係数 = (営業費用 ÷ 営業収益) × 100
- 営業費用は、人件費、経費、減価償却費等
- 営業収益は、乗車料収入、広告料収入等

## 7 路線別の収支状況

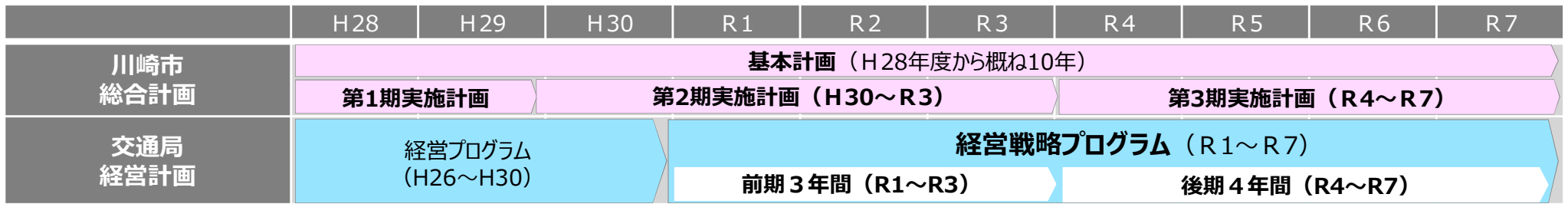
[令和4年度決算]

	路線名	主要系統	営業収益 (千円)	営業費用 (千円)	営業損益 (千円)	営業係数
1	埠頭線	川崎駅～市営埠頭				
2	東扇島循環線	川崎駅～東扇島循環・東扇島西公園前	1,363,028	1,652,721	△ 289,693	121.3
3	小向線	川崎駅ラゾーナ広場～妙光寺前～上平間	355,644	296,352	59,292	83.3
4	渡田線	川崎駅～J F E 前～塩浜営業所前	411,048	416,626	△ 5,578	101.4
5	水江町線	川崎駅～水江町・塩浜	337,430	360,214	△ 22,784	106.8
6	扇町線	川崎駅～扇町	68,478	89,893	△ 21,415	131.3
7	神明町線	川崎駅ラゾーナ広場～神明町～上平間～小杉駅前	208,543	261,487	△ 52,944	125.4
8	新城線	井田病院～川崎駅西口・新城駅前・井田病院・横須賀線小杉駅	426,739	517,994	△ 91,255	121.4
9	小倉循環線	川崎駅西口～新川崎駅～江川町	174,697	231,114	△ 56,417	132.3
10	御幸線	川崎駅ラゾーナ広場～幸区役所入口～小杉駅前	385,442	419,394	△ 33,952	108.8
11	等々力線	小杉駅前～溝口駅前	110,052	153,812	△ 43,760	139.8
12	宮内線	小杉駅前～中原駅前	136,061	137,745	△ 1,684	101.2
13	蟹ヶ谷線	小杉駅前～蟹ヶ谷	86,794	124,252	△ 37,458	143.2
14	久末団地線	溝口駅南口・中原駅前～高田町	69,578	110,378	△ 40,800	158.6
15	馬絹線	宮前平駅～新城駅前・井田病院	153,257	173,095	△ 19,838	112.9
16	有馬線	小杉駅前・新城駅前～鷺沼駅	335,140	342,689	△ 7,549	102.3
17	久末線	溝口駅南口～有馬第二団地前	45,349	68,100	△ 22,751	150.2
18	柿生線	溝口駅南口～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・新百合丘駅前	1,082,402	1,229,331	△ 146,929	113.6
19	犬蔵線	溝口駅南口～宮前平駅・宮前区役所前・聖マリアンナ医科大学前	654,968	677,107	△ 22,139	103.4
20	五所塚線	登戸駅（生田緑地口）～菅生車庫・宮前区役所前	199,130	269,225	△ 70,095	135.2
21	生田線	生田駅～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・宮前平駅・宮前区役所前	286,733	324,440	△ 37,707	113.2
22	久地線	向丘遊園駅南口・登戸駅～溝口駅前～井田営業所前	112,188	164,851	△ 52,662	146.9
23	西菅線	向丘遊園駅南口・登戸駅～城下～西菅団地	97,767	143,962	△ 46,196	147.3
24	カリタス線	菅生車庫～登戸駅多摩川口～カリタス学園・中野島多摩川住宅	90,142	131,534	△ 41,392	145.9
25	新ゆり線	新百合丘駅前～鷺ヶ峰営業所前	22,205	53,423	△ 31,218	240.6
26	市民プラザ線	溝口駅南口～市民プラザ～梶ヶ谷駅	117,643	138,463	△ 20,820	117.7
27	川崎病院線	川崎駅～（直通）～川崎病院	15,851	16,512	△ 662	104.2
28	藤子・F・不二雄 ミュージアム線	登戸駅（生田緑地口）～藤子・F・不二雄ミュージアム	41,081	52,046	△ 10,965	126.7

# 8 川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）

## 川崎市バス事業 経営戦略プログラムについて

- 今後の人口増加と高齢化率の上昇、まちづくりの進展、運転手・整備員の不足、営業所施設の老朽化など、事業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、経営計画を策定（平成31年3月）
- 計画期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間（前期3年間、後期4年間に設定）
- 川崎市総合計画の政策や施策を効果的・効率的に推進するため、「分野別計画」として位置付け
- 後期4年間については、市バス事業を取り巻く環境の変化や前期3年間の取組状況等を踏まえて、**計画の見直しを行い、後期計画を策定**（令和4年3月）

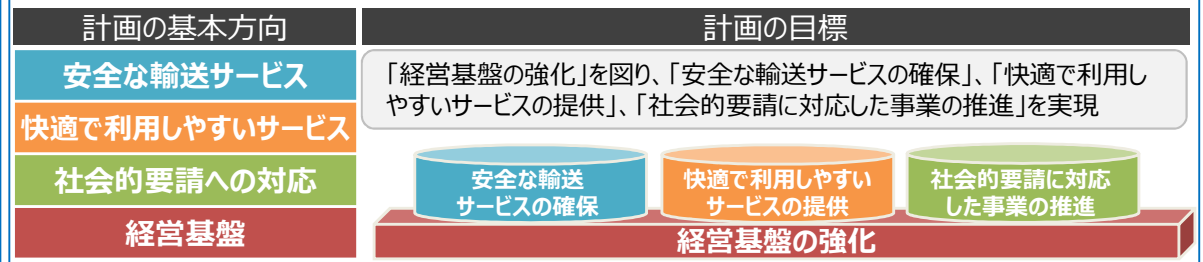


## 市バス事業を取り巻く環境の変化と課題

- **新型コロナウイルス感染症の影響**
  - ・感染拡大防止のためテレワークなど人々の行動様式が変容したことから乗車人員及び乗車料収入の大幅な減少
  - ・今後も感染拡大前の乗車人員への回復は困難
- **自然災害への対応**
  - ・これまでの想定を超える自然災害が頻発
  - ・自然災害を想定した災害時に備えた対応が必要
- **脱炭素の取組**
  - ・「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」と連携したバス車両等の脱炭素に向けた取組が必要
- **社会のデジタル化への対応**
  - ・デジタル技術を活用したキャッシュレス化への対応
- **その他の環境の変化**
  - ・燃料費の動向：軽油価格の急激な変動を見据えた対応が必要

## 後期計画の基本的な考え方

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により市バスを取り巻く環境は大きく変化する中においても、市バス輸送サービスの持続的な提供に必要となる、「安全な輸送サービス」「快適で利用しやすいサービス」「社会的要請への対応」及び「経営基盤」の**4つの基本方向を維持することで、市民やお客様の大切な交通手段を確保していく。**
- 今後においても公共交通や公営バスとしての意義・役割を果たし、安全かつ快適で利用しやすいサービスを提供するためには、今般の乗車人員・乗車料収入の減少に伴う変化への対応が喫緊の課題であることから、後期計画では、全てのサービス提供の礎となる「**経営基盤の強化**」を**重要課題**と位置付け、さらなる経営改善に取り組む。



### 計画期間中の純利益の確保

- 純損益は、**後期4年間で純利益（黒字）の確保を目指し**、資金不足額は、**安定的に純利益（黒字）を確保することにより、順次解消を図る。**

## 9 令和6年度予算の概要

(単位 千円)

区 分		6 年 度 予 算 額	5 年 度 予 算 額	増 減 額	
				増 減 額	増 減 率 ( % )
収益的収支	収 入	9,929,263	9,603,538	325,725	3.39
	支 出	10,235,966	9,669,265	566,701	5.86
	純損益 (税抜き)	△ 471,528	△ 213,161	△ 258,367	
資本的収支	収 入	1,847,843	1,697,669	150,174	8.85
	支 出	2,547,326	2,501,339	45,987	1.84
当年度末累積資金過不足額		△91,181	△171,745	80,564	

# 10 主な事業

## (1) 運輸安全マネジメントの着実な推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略1 安全な輸送サービスの確保

### ● 安全対策の強化

#### ・輸送安全委員会の開催

- ▶ 輸送の安全に関する取組状況などの情報を共有し、安全意識の向上を図るため、年4回開催

#### ・経営トップと営業所職員による意見交換の実施

- ▶ 交通事業管理者（交通局長）や安全統括管理者と営業所職員との間で、的確な情報伝達と双方向の意思疎通を図るための意見交換を実施

#### ・運転手実技研修の実施

- ▶ 民間教習所施設を使用して行う実際の運行に則した体験型の運転手実技研修を実施

#### ・添乗観察の実施

- ▶ 外部委託による添乗観察の結果に基づく個別指導を実施

#### ・ドライブレコーダーとデジタルタコグラフの活用

- ▶ ドライブレコーダー映像について、発生した事故等の要因分析等を行い運転手教育に活用
- ▶ ドライブレコーダーのデータ（映像・音声）転送やリアルタイムの状況把握に向けた通信機能の整備
- ▶ 急加速や急制動などの運行データが記録可能なデジタルタコグラフを活用した指導の実施

#### ・車両へのドライバーモニタリングシステム等の装備

- ▶ 新規導入のハイブリッドバス車両にはドライバーモニタリングシステム※が標準装備されており、運転手に不測の事態が生じた場合の安全性を確保

※ ドライバーの居眠りや脇見等の異常状態を検知し、注意喚起等を行うシステム



輸送安全委員会



運転手実技研修

# 10 主な事業

## (2) 安全啓発の推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略1 安全な輸送サービスの確保

### ● 輸送の安全に係る啓発活動の充実

#### ・交通安全・バリアフリー教室の開催

- ▶ 区役所や警察署、学校等の関係機関と連携し、市バス車両を使用した交通安全・バリアフリー教室を開催
- ▶ 交通安全パンフレットを作成し、新小学一年生へ配布

#### ・自転車利用者に向けた注意看板の設置

- ▶ 自転車の車道走行の増加等を踏まえ、自転車接触事故の予防的対策として、市バス路線付近の自転車等駐車場への注意看板の設置



交通安全・バリアフリー教室

## (3) 市バスネットワークの形成

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略2 快適で利用しやすいサービスの提供

### ● 人口動態や都市基盤整備に応じた市バスネットワークの形成

#### ・人口の増加や社会変容による通勤等の輸送需要の変化への対応

- ▶ 利用動向を踏まえたダイヤ改正、路線再編の実施

#### ・都市基盤整備の進捗に応じたバスネットワークの検討

- ▶ 臨海部の拠点整備等に合わせた路線の検討
- ▶ 京急川崎駅周辺地区
- ▶ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 など

# 10 主な事業

## (4) バス利用環境の充実

川崎市バス事業 経営戦略プログラム (後期計画)  
戦略2 快適で利用しやすいサービスの提供

### 市バスナビ

- ▶ 市バスナビの運用による運行情報の提供



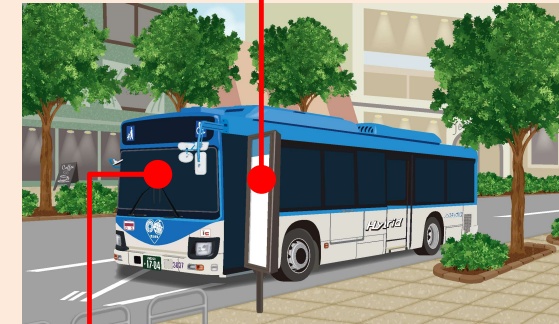
### 停留所運行情報表示器

- ▶ バス停留所における運行情報の提供



### リアルタイム運行情報の外部提供

- ▶ リアルタイム運行情報を経路検索アプリの運営事業者等が活用しサービス提供



### バス総合案内表示板

- ▶ 駅改札口付近における運行情報の提供



### バス車内停留所案内表示器

- ▶ バス車内における案内情報の提供



## (5) 快適な移動空間の提供

川崎市バス事業 経営戦略プログラム (後期計画)  
戦略2 快適で利用しやすいサービスの提供

### ● バス停留所施設の整備・維持

- ▶ 停留所施設の清掃等を定期的を実施
- ▶ 劣化の進んでいる上屋の補修、二面式標識等の補修・更新を実施



上屋



二面式標識

# 10 主な事業

## (6) 環境対策の推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略3 社会的要請に対応した事業の推進

### ●バス車両等の脱炭素に向けた取組

- ▶ 人と環境にやさしい市バスを目指して、CO<sub>2</sub>排出量の少ないハイブリッドバス車両を導入(29両)
- ▶ 2050年の脱炭素社会の実現に向けて、電気バス（BEV※）3両を試験導入し、今後の導入へ向けた運行面の課題等を整理
- ▶ 電気バス（BEV）導入に伴い、塩浜営業所へ受変電設備を整備
- ▶ 塩浜・井田・鷺ヶ峰営業所施設照明（屋内）のLED化工事実施



ハイブリッドバス

※「Battery Electric Vehicle」の略称で、バッテリー式電気自動車のことを指す

## (7) 災害時等への対応

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略3 社会的要請に対応した事業の推進

### ●危機管理体制の強化に向けた取組

#### ・災害時等における実効性のある取組

- ▶ 災害時等を想定した訓練の実施
- ▶ 訓練結果を踏まえた交通局危機管理対応マニュアル等の改訂

#### ・バス非常時に備えた取組

- ▶ 本局と営業所間における情報収集・伝達のシミュレーションを行う重大事故通報訓練を実施
- ▶ 非常用連絡無線機を活用して、運行指示や運行に係る情報収集を実施



重大事故通報訓練



# 10 主な事業

## (8) 事業基盤の強化

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略4 経営基盤の強化

### ● 安定的な事業基盤を支える人材の確保

- ▶ 大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けた運転手（養成枠）採用選考を継続実施
- ▶ 職員採用パンフレット、民間求人サイト、SNS等を活用して、採用選考の効果的な広報を実施

### ● 職員の健康管理

- ▶ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査の実施
- ▶ 脳健診の実施
- ▶ 心臓疾患・大血管疾患対策検査の実施
- ▶ 眼科検診の実施

### ● 営業所の計画的整備

- ▶ 塩浜営業所の建替えに向けた営業所施設の機能の検討
- ▶ 鷺ヶ峰営業所の再整備について検討



職員採用パンフレット

## (9) 経営力の強化

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略4 経営基盤の強化

### ● 持続可能な経営の推進

#### ・営業所の管理委託の継続

- ▶ 上平間営業所及び井田営業所の管理委託を継続（令和4年度から令和8年度までの5年間）

#### ・総人件費の抑制

- ▶ 働き方・仕事の進め方改革の推進による長時間勤務の是正（時間外勤務の縮減・平準化を含めた総人件費の抑制）

# 10 主な事業

## (10) プロモーションの推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）  
戦略4 経営基盤の強化

### <市バス広報>

#### ・市バス公式X（旧Twitter）

- ▶ 市バスイベント情報、かわさきノルフィンの情報などのほか、事故や災害時の路線運行情報などを随時発信

#### ・市バスホームページ

- ▶ ダイヤ改正、運行系統変更など重要な情報のほか、お楽しみ情報などを発信

#### ・市バスマップ

- ▶ 市バス全路線の路線図をはじめ、主要駅の乗り場案内、料金や各種制度の案内などを掲載



かわさき市バスマップ

### <ホームタウンスポーツチームとの協働事業>

#### ・川崎フロンターレとの協働事業

- ▶ ホームゲーム開催時に、小杉駅から等々力陸上競技場前まで直行便を運行
  - ※ 運転手がユニフォームを着用
  - ※ 川崎フロンターレ選手による車内アナウンスを実施



運転手のユニフォーム着用

## 10 主な事業

### (11) 交通事業80周年記念事業

川崎市交通事業は、昭和19（1944）年10月14日に営業を開始し、令和6（2024）年に80周年を迎えることから、これからも市バスが、市の発展とともに、市民の皆様の身近な公共交通機関として歩み続けていくことを目指し、川崎市交通事業を身近に感じてもらい、市バスのイメージアップを図るため、交通事業80周年記念事業を実施します。

**80周年記念事業のテーマ：「市の発展とともに、市民の身近な公共交通機関として歩み続ける市バス」**

#### 交通事業80周年記念事業ロゴマーク



#### ★ デザインコンセプト ★

市バスカラーの青と白を基調に、80周年の「8」の字の下の円と「0」を繋げ、無限大マーク「∞」にみたて、80周年は通過点であり、これからも歩み続ける市バスを表現

#### 令和6年度の主な取組（予定）

- バースデーイベント等の市民やお客様が参加できるイベントの実施
- 記念グッズ等の発売
- 年間を通じたプロモーション活動の実施
- 市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアとの連携
  - ▶ 全国都市緑化かわさきフェア会場と連携した周遊型謎解きイベントの実施
  - ▶ 全国都市緑化かわさきフェアとのコラボラッピングバスの運行